

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組01-03	MATSUSHIMA自然エネルギーパーク構想の実施 (3)多機能可搬型スマートデバイス(スマートポール)設置事業
②対応する目標・課題	【環境】(低炭素・エネルギー) 再生可能エネルギーに基づく、自立分散型電源の構築	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標:【環境】(低炭素・エネルギー) 再生可能エネルギーに基づく、自立分散型電源の構築	■目標値:1%未満(H23年度推定値) ⇒ 20%(H28年度末)
	■評価指標02:ひとり当たり年間温室効果ガス排出量(t-CO2/人・t)	■目標値:4.1t(H21年度推計) ⇒ 20%減(H28年度:H22年度比)
④取組内容 再生可能エネルギーに基づく、自立分散型電源の構築。小型風力・太陽光発電・蓄電池を備え、独立して発電・給電が可能な可搬型スマートデバイス(スマートポール)を、先行的に市内10カ所に整備する。発電状況、運用状況等を検証したうえで、市内への更なる増設を計画する。避難所におけるエネルギー自給率の向上を図り、また、地域マルチメディア端末の導入準備を進める基盤のひとつとしての機能を検討する。 【装置概要】 小型風力発電:1000W(風速12.5m/s時) 年平均風速(4m/s)で約2,100Wh/日の発電 太陽光パネル:260W 通年で平均した発電量で約800Wh/日 内蔵型蓄電池:12V 100Ah ×4基 LED街灯 通常時は、設置した公共施設において通常電源として使用。非常時には、ポール内蔵の家庭用コンセントからの直接給電も可能。基本形態が垂直に自立したポールであるため、無線設備等のデバイスを後付で設置可能。		
⑤エリア 市内全域。各地区等で防災拠点となる公共施設等 ※主な施設(全10施設) ・東松島市役所 ・小野市民センター ・矢本東市民センター ・矢本西市民センター ・大曲市民センター ・赤井市民センター ・大塩市民センター ・宮戸市民センター ・大塚地区センター ・野蒜市民センター		
⑥主体 東松島市		
⑦活用した国等の制度 環境未来都市先導的モデル事業補助金(内閣府)		
⑧地域の関与 市民協働事業の中核となる市民センターに設置。		
⑨スケジュール		
23年度	工事施工	
24年度	工事施工	
25年度	運用状況確認、以降取組7の(2)「避難所における再生可能エネルギー等導入事業」にて、同タイプのデバイスの増設	
26年度		
27年度		
28年度		
29年度以降		
⑩他の取組との連携 「1. MATSUSHIMA自然エネルギーパーク構想」および「7. エネルギーおよび食糧に関する域内自給率向上の取り組み」のひとつとして、避難所における自立型電源の構築、避難所におけるエネルギー自給率の向上を目指す。 また、「地域分散型電源整備事業」や「地域コミュニケーション適正化(マルチメディア等)検討事業」において、オプションの装置を併設することにより、エネルギーマネジメントや情報基盤整備を進めるための基地・中継設備としての活用を図る。		
⑪自立・自律の方針・目標		